

運輸安全マネジメントに関する取り組み

株式会社フクトミでは、安全・安心・快適な輸送を確保するために、経営トップ以下全社員一丸となって取り組んでまいります。

1. 輸送の安全に関する基本的な方針

弊社では、「安全宣言を定め、輸送の安全確保をより強固なものとするために、運輸安全マネジメントに関する取り組みを定義しております。

安全宣言

我が社は、伝統あるサービスを基に、お客様の安全輸送と従業員及び家族の幸せを目指し、次の事項を実施します。

- 一 関係法令を遵守し、お客様の安全確保が最優先という意識を徹底する。
- 二 輸送の安全に関する費用支出及び投資を積極的かつ効率的に行う。
- 三 輸送に関する危険の予知能力を高め、必要な予防措置を講じる。
- 四 輸送の安全に関する情報の連絡体制を確立し、必要な情報を伝達、共有する。
- 五 輸送の安全に関する教育および研修を積極的に実施する。

また、安全スローガンを策定し、安全な輸送について具体的に意識付けを行っております。

安全スローガン

- 一 バックする 見えない死角に 何かある
- 二 安全は 常に「基本」の 積み重ね

安全宣言及び安全スローガン等は本社に掲示するとともに、点呼執行の際、運行管理者と乗務員の双方が安全に関する方針を確認しております。

2. 輸送の安全に関する目標及び実績

(1) 2021年度輸送の安全に関する目標と実績

- ・目標 事故発生件数 0
- ・実績 目標達成 (軽微な物損事故を除く)

(2) 2022年度輸送の安全に関する目標

- ・目標 事故発生件数 0

この目標を達成するために、下記の事項について特に重点的に実行します。

- (1) 安全管理責任者が側乗りし、乗務員と共に危険個所と接遇を再確認
- (2) 安全快適な運転で一流のサービスを提供しよう。
- (3) 思いやりの運転で事故防止。
- (4) ドラレコを活用し、ヒヤリ・ハットポイントを研修する。

3. 輸送安全のために講じた措置及び講じようとする措置

- (1) 衝突被害軽減ブレーキ搭載車の導入

- (2) ドライブレコーダーの導入（全車両導入済み）

→乗務員の安全運転意識向上効果があり、具体的な交通安全教育に活用しています。

- (3) デジタルタコグラフの装着（全車両装着済み）

→運行記録を素早く正確に分析でき、安全運転のためのきめ細かな指導が可能です。

- (4) ITを活用した高性能なアルコール検知器を導入

→アルコールチェック体制の厳格化を図っています。

宿泊先など遠隔地でのアルコール検査では、アルコール値だけではなく、接続したスマートホンのカメラ画像で乗務員の顔色や表情を同時に確認し、運行管理に役立てます。

- (5) 貸切バス安全性評価制度 三ツ星認定

→貸切バス事業者の安全性や安全の確保に向けた取り組み状況について評価・認定される制度です。公益社団法人日本バス協会に申請し審査を受けます。貸切バス事業者からは貸切バスの安全性を客観的にご選択いただく基準のひとつになり、貸切バス事業者にとっては、より安全なバスサービスの充実・維持に取り組む指標となっています。

弊社では、2021年12月27日に三ツ星認定を受けております。

4. 輸送の安全に関する教育及び研修の実施状況

- (1) 安全管理会（月1回）
- (2) 安全統括管理者、役員による職場巡回（随時）
- (3) ドライブレコーダーやデジタルタコグラフに基づく教育指導
- (4) 睡眠時無呼吸症候群（SAS）検査の実施
- (5) アルコール検知器による厳正な始業点呼及び中間点呼及び終業点呼
- (6) 「事故や災害を想定した教育訓練」等乗務員研修会の実施

5. 安全統括管理者に係る情報

安全統括管理者 代表取締役 川手 学